

地球温暖化対策に係る京都府の取組



2025. 12. 18
エコドライブマイスター講習会



京都府 総合政策環境部 脱炭素社会推進課

講義内容

1

- 地球温暖化のメカニズムと現状

2

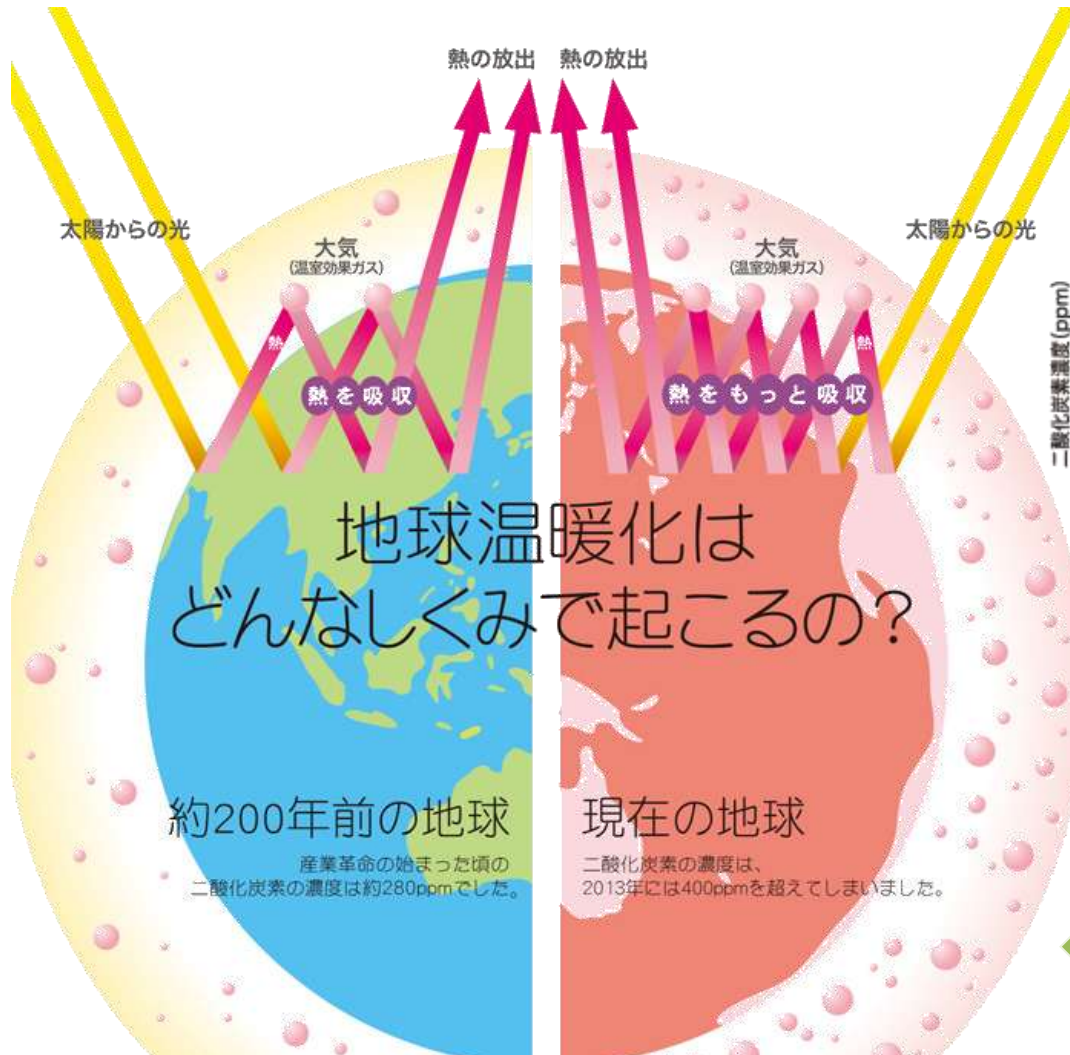
- 温室効果ガスの排出状況

3

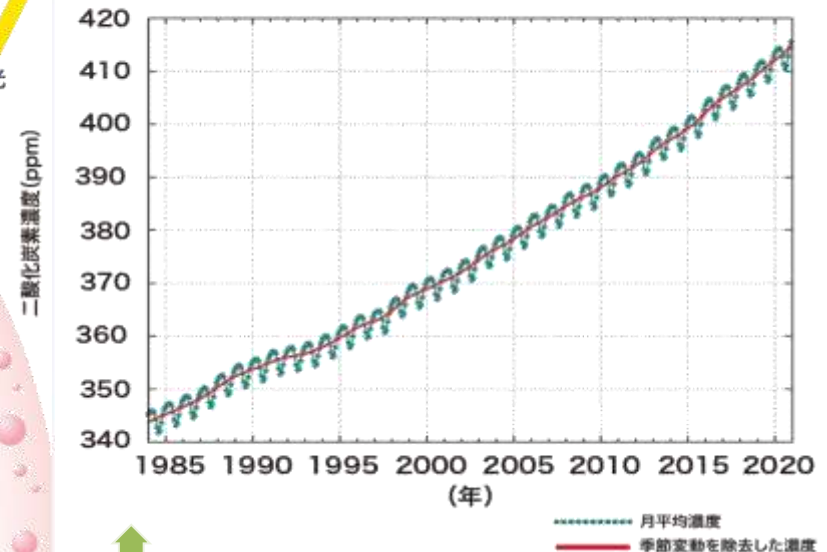
- 地球温暖化対策に係る京都府の取組

地球温暖化の メカニズムと現状

地球温暖化のメカニズム



地球全体の二酸化炭素濃度の経年変化

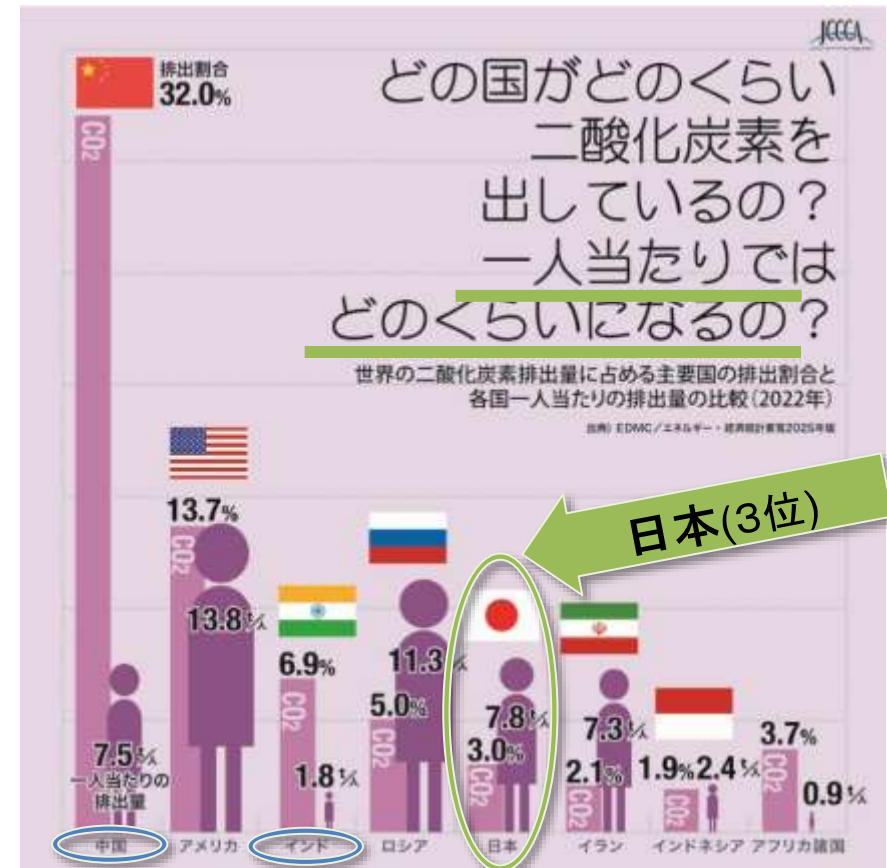
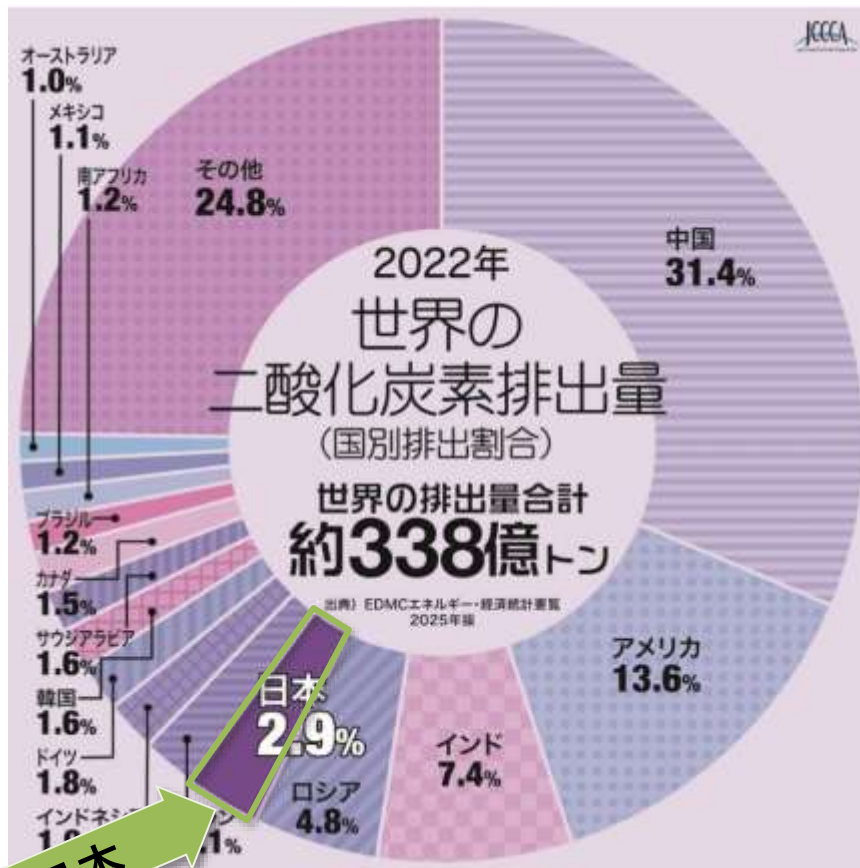


出典)温室効果ガス世界資料センター(WDCGG)「地球全体の二酸化炭素の経年変化」(気象庁HPより)

出典)全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<http://www.jccca.org/>)より

- 太陽光で暖められた地面が放出する熱(赤外線)を「**温室効果ガス**(水蒸気、二酸化炭素、メタン、代替フロンなど)」が吸収して大気を暖める。

世界の二酸化炭素排出量 (国別割合と国民一人当たりの比較)



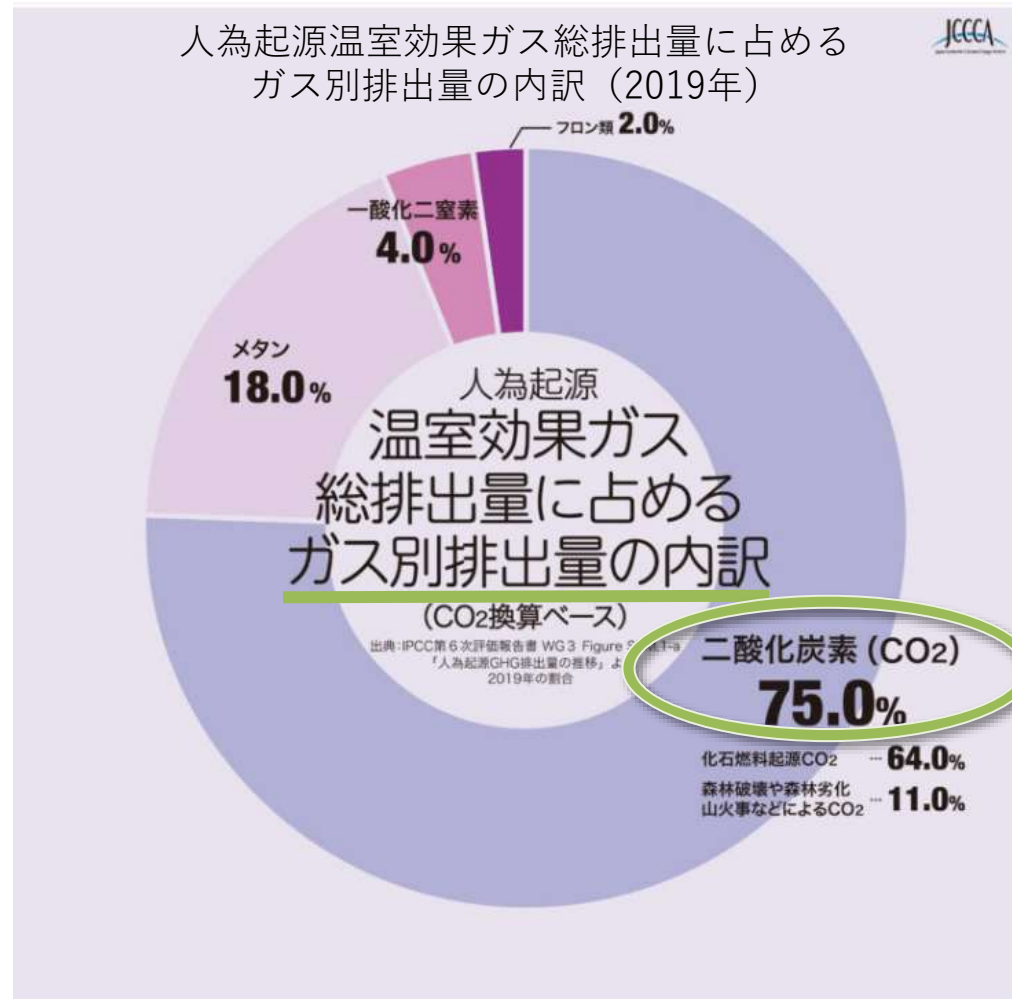
日本
5位

日本(3位)

出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)

(元画像出典: EDMC/エネルギー・経済統計要覧2025年版)

温室効果ガス総排出量に占めるガス別内訳



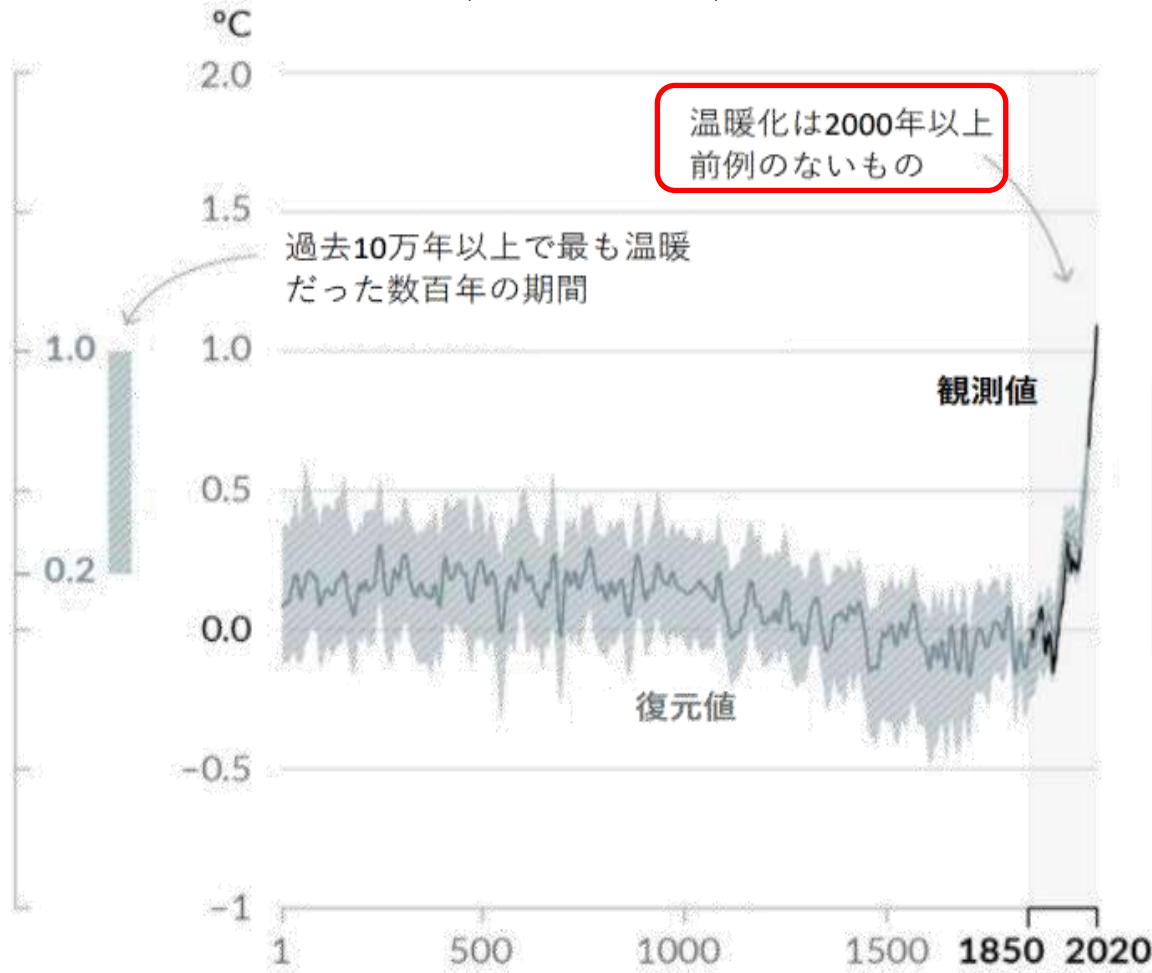
二酸化炭素は最も温暖化への影響度が大きい！

出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)

(元画像出典: IPCC第6次評価報告書WG3 Figure SPM.1-a「人為起源GHG排出量取引の推移」より作成されたもの)

前例のない速度で温暖化

世界平均気温（10年平均）の変化 復元値（1～2000年）及び
観測値（1850～2020年）



「IPCC第6次評価報告書第I作業部会
報告書（自然科学的根拠）」
（2021年）より

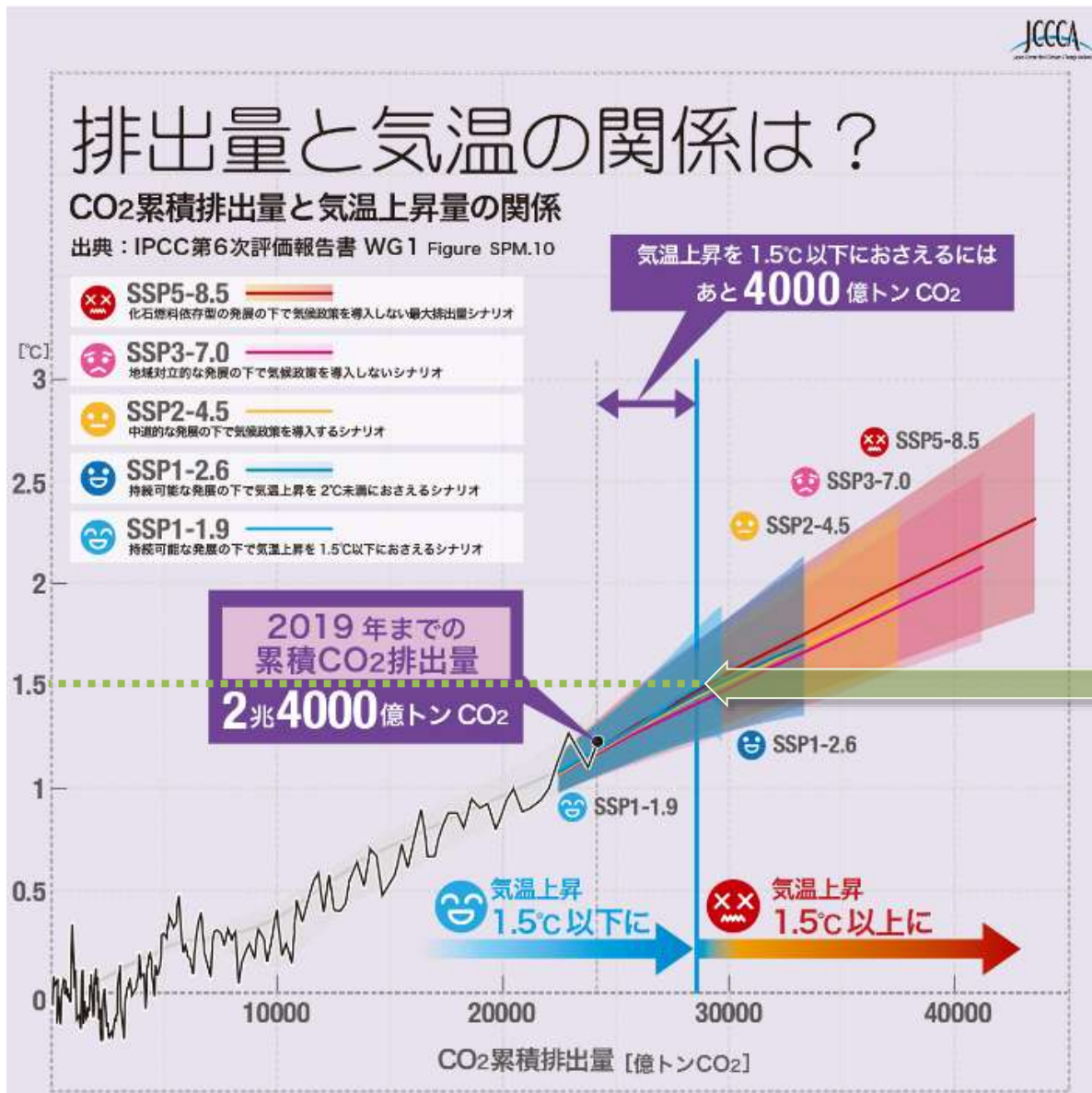
疑う余地がない

人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきた

広範囲にわたる**急速な変化**が、大気、海洋、雪氷圏及び生物圏に起きている

人間の影響は少なくとも**過去2000年間に前例のない速度**で、気候を温暖化させてきた

CO₂累積排出量と気温上昇量の関係



出典) 全国地球温暖化防止活動推進センター
ウェブサイト

(<http://www.jccca.org/>)

(元画像出典：IPCC第6次評価報告書)

世界平均気温を「**1.5℃上昇**」
までに抑制しなければ現在の
安定した生活をおくれない

そのために2050年前後には
世界のCO₂排出量の**実質ゼロ**
を達成することが必要

「IPCC1.5℃特別報告書」より

温室効果ガスの排出状況

日本の温室効果ガス排出量の推移

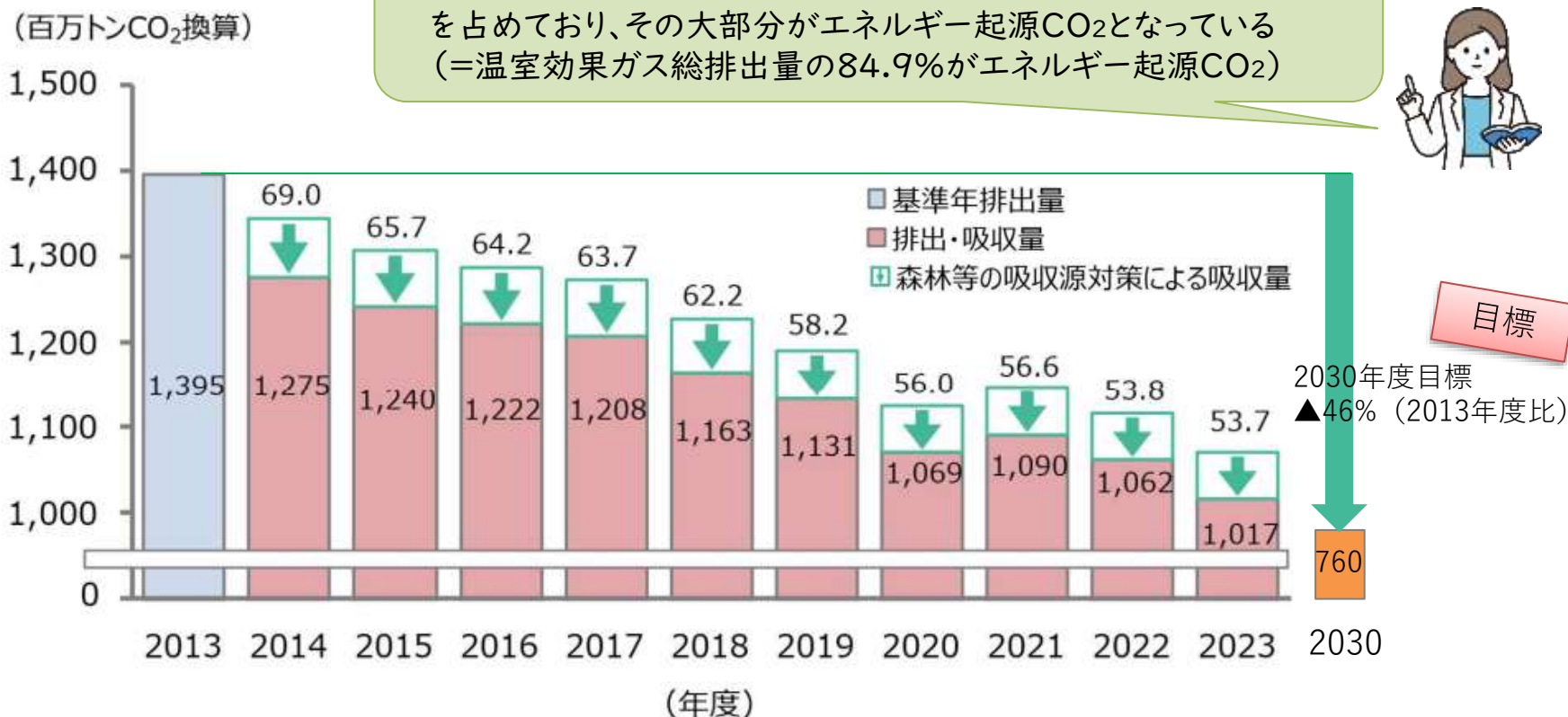
2023年度の温室効果ガス排出・吸収量：10億1,700万t-CO₂※

※CO₂換算

<前年度比 4.2%減、2013年度比 27.1%減>

【参考】エネルギー起源の二酸化炭素(CO₂)

ガス別に見ると、CO₂排出量が温室効果ガス総排出量の91.3%を占めており、その大部分がエネルギー起源CO₂となっている(=温室効果ガス総排出量の84.9%がエネルギー起源CO₂)



出典) 環境省ホームページ「2023年度の温室効果ガス排出・吸収量(詳細)」<https://www.env.go.jp/content/000310244.pdf>

日本の部門別温室効果ガス排出量（2023年度）

CO₂の排出量（電気・熱配分後）

	1990年度	2013年度	2022年度	2023年度		
	排出量	排出量	排出量	排出量	変化量 《変化率》	
	〔シェア〕	〔シェア〕	〔シェア〕	〔シェア〕	2013年度比	2022年度比
合計	1,160 〔100%〕	1,314 〔100%〕	1,031 〔100%〕	989 〔100%〕	-325.4 《-24.8%》	-42.8 《-4.1%》
エネルギー起源	1,068 〔92.0%〕	1,235 〔94.0%〕	961 〔93.2%〕	922 〔93.2%〕	-313.7 《-25.4%》	-39.3 《-4.1%》
産業部門 （工場等）	505 〔43.5%〕	463 〔35.3%〕	354 〔34.3%〕	340 〔34.3%〕	-123.8 《-26.7%》	-14.0 《-4.0%》
運輸部門 （自動車等）	208 〔18.0%〕	224 〔17.1%〕	192 〔18.6%〕	190 〔19.2%〕	-34.1 《-15.2%》	-1.4 《-0.7%》
業務その他部門 （商業・サービス・事業所等）	131 〔11.3%〕	235 〔17.9%〕	176 〔17.1%〕	165 〔16.7%〕	-69.6 《-29.7%》	-10.9 《-6.2%》
家庭部門	126 〔10.9%〕	209 〔15.9%〕	158 〔15.3%〕	147 〔14.9%〕	-62.2 《-29.7%》	-10.8 《-6.8%》
エネルギー転換部門	96.6 〔8.3%〕	104 〔7.9%〕	81.8 〔7.9%〕	79.6 〔8.1%〕	-	-
発電所・製油所等	96.2 〔8.3%〕	106 〔8.1%〕	84.2 〔8.2%〕	81.0 〔8.2%〕	-25.2 《-23.7%》	-3.2 《-3.8%》
電気熱配分統計誤差	+0.4 〔0.0%〕	-2.6 〔-0.2%〕	-2.4 〔-0.2%〕	-1.4 〔-0.1%〕	-	-
非エネルギー起源	92.8 〔8.0%〕	78.8 〔6.0%〕	70.5 〔6.8%〕	67.0 〔6.8%〕	-11.8 《-15.0%》	-3.5 《-5.0%》
工業プロセス及び製品の使用	65.2 〔5.6%〕	49.4 〔3.8%〕	41.1 〔4.0%〕	38.6 〔3.9%〕	-10.9 《-22.0%》	-2.5 《-6.2%》
廃棄物（焼却等）	21.2 〔1.8%〕	26.3 〔2.0%〕	27.3 〔2.6%〕	26.4 〔2.7%〕	+0.04 《+0.2%》	-0.92 《-3.4%》
その他（間接CO ₂ 等）	6.4 〔0.5%〕	3.0 〔0.2%〕	2.1 〔0.2%〕	2.1 〔0.2%〕	-0.96 《-32.0%》	-0.05 《-2.4%》

2030年
削減目標率

※（ ）内は2023年度実績
の2013年度比（変化率）

46%

（24.8%）

38%

（26.7%）

35%

（15.2%）

51%

（29.7%）

66%

（29.7%）

地球温暖化対策計画改定
（2025年2月閣議決定）

2023年度
運輸部門からの排出量
約1億9,000万トン
（総排出量の**19.2%**）

（注）排出量“0.0”は5万トン未満、シェア“0.0”は0.05%未満

（単位：百万トン）

図出典) 環境省ホームページ「2023年度温室効果ガス排出・吸収量（確報値）概要」

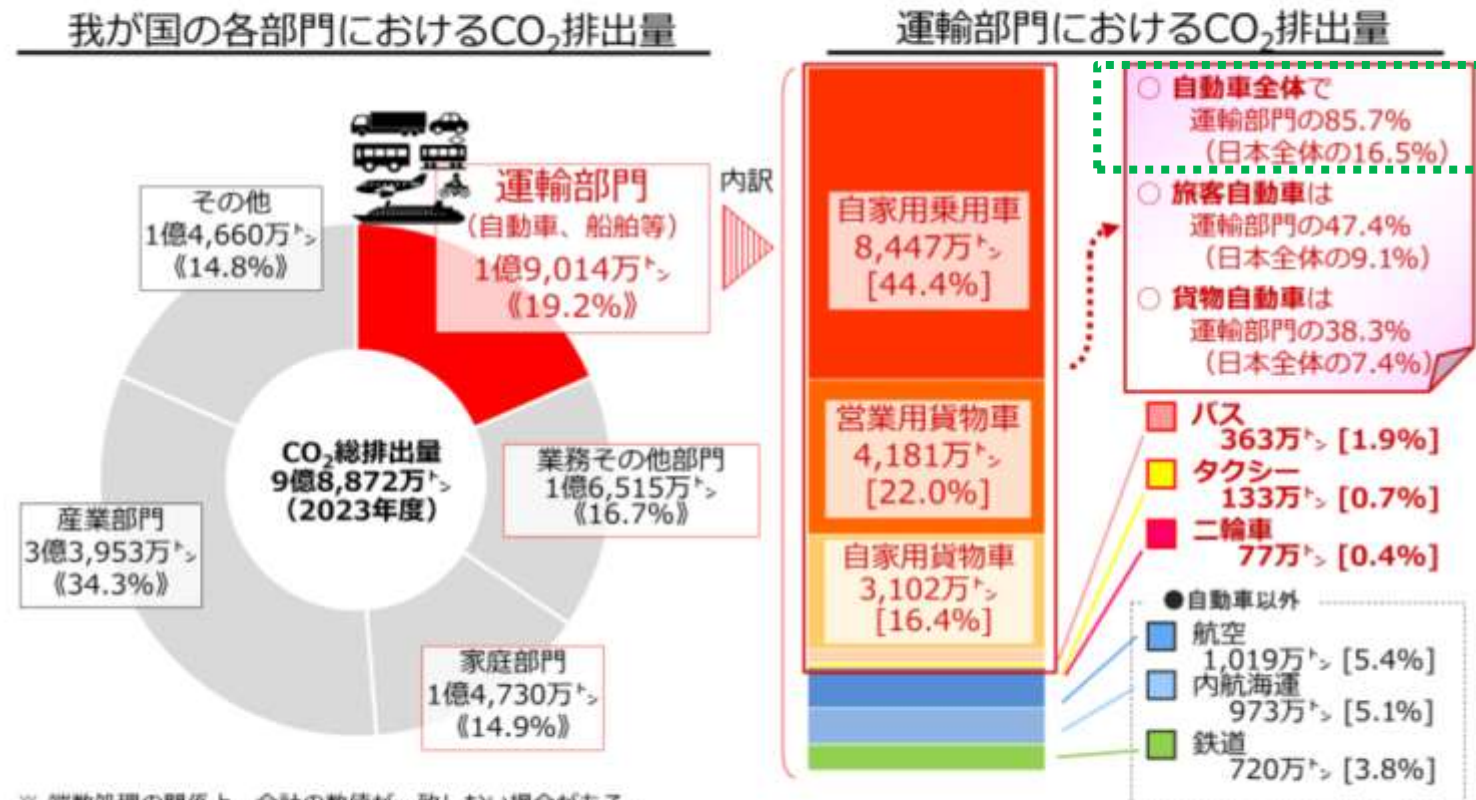
<https://www.env.go.jp/content/000310244.pdf>

日本の運輸部門の二酸化炭素排出量（2023年度）

自動車全体で運輸部門の85.7%（日本全体の16.5%）を排出。

貨物自動車だけでも**運輸部門の38.3%（日本全体の7.4%）**を排出。

運輸部門における二酸化炭素排出量



※ 端数処理の関係上、合計の数値が一致しない場合がある。

※ 電気事業者の発電に伴う排出量、熱供給事業者の熱発生に伴う排出量は、それぞれの消費量に応じて最終需要部門に配分。

※ 温室効果ガスインベントリオフィス「日本の温室効果ガス排出量データ（1990～2023年度）確報値」より国土交通省環境政策課作成。

※ 二輪車は2015年度確報値までは「業務その他部門」に含まれていたが、2016年度確報値から独立項目として運輸部門に算定。

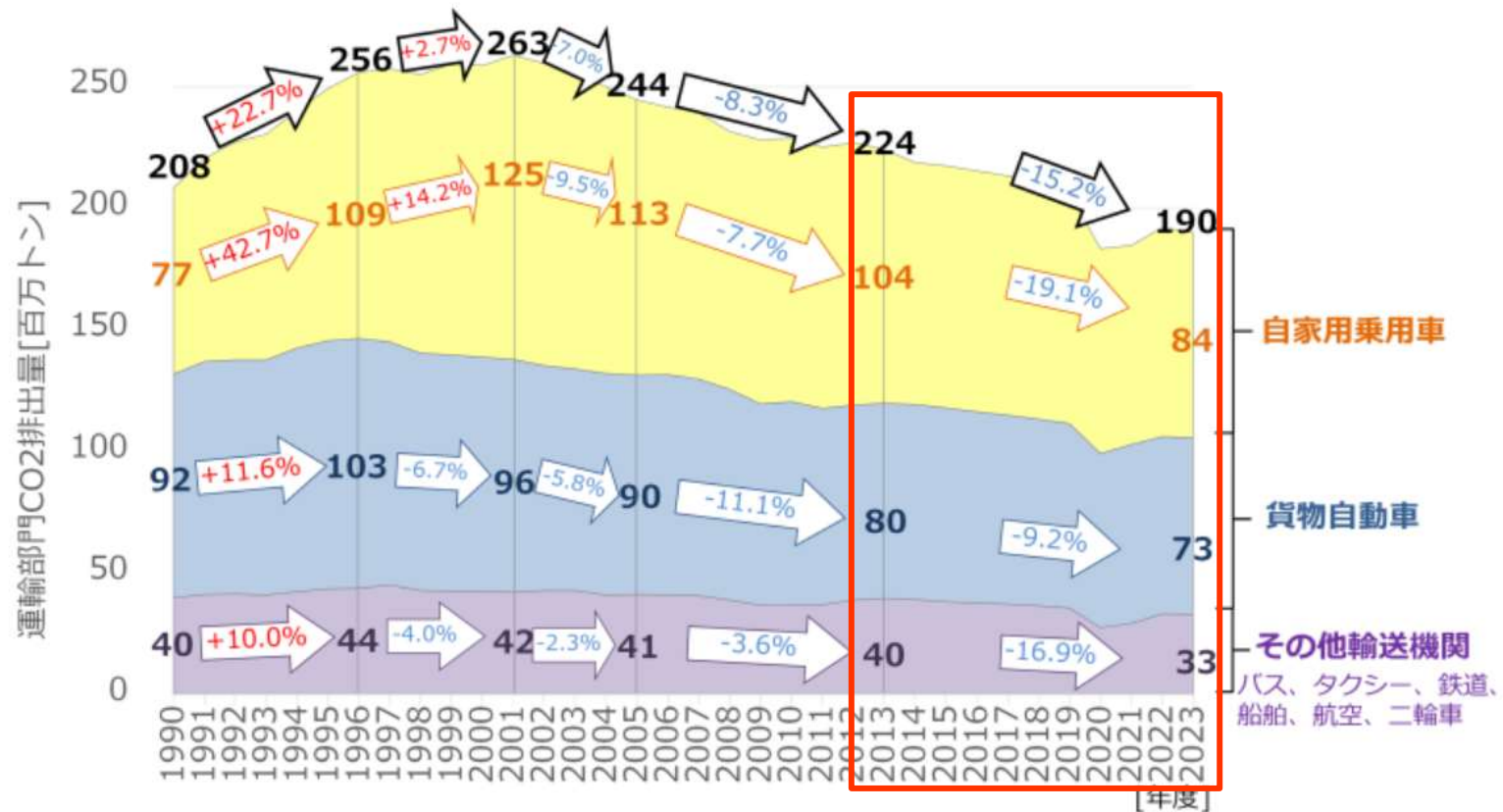
図出典) 国土交通省ホームページ「運輸部門における二酸化炭素排出量」

https://www1.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

日本の運輸部門の二酸化炭素排出量の推移

2023年度のCO₂排出量について、2013年度からの削減率が最も大きいのは**自家用乗用車**で、最も小さいのは**貨物自動車**

運輸部門における二酸化炭素排出量の推移



図出典) 国土交通省ホームページ「運輸部門における二酸化炭素排出量」

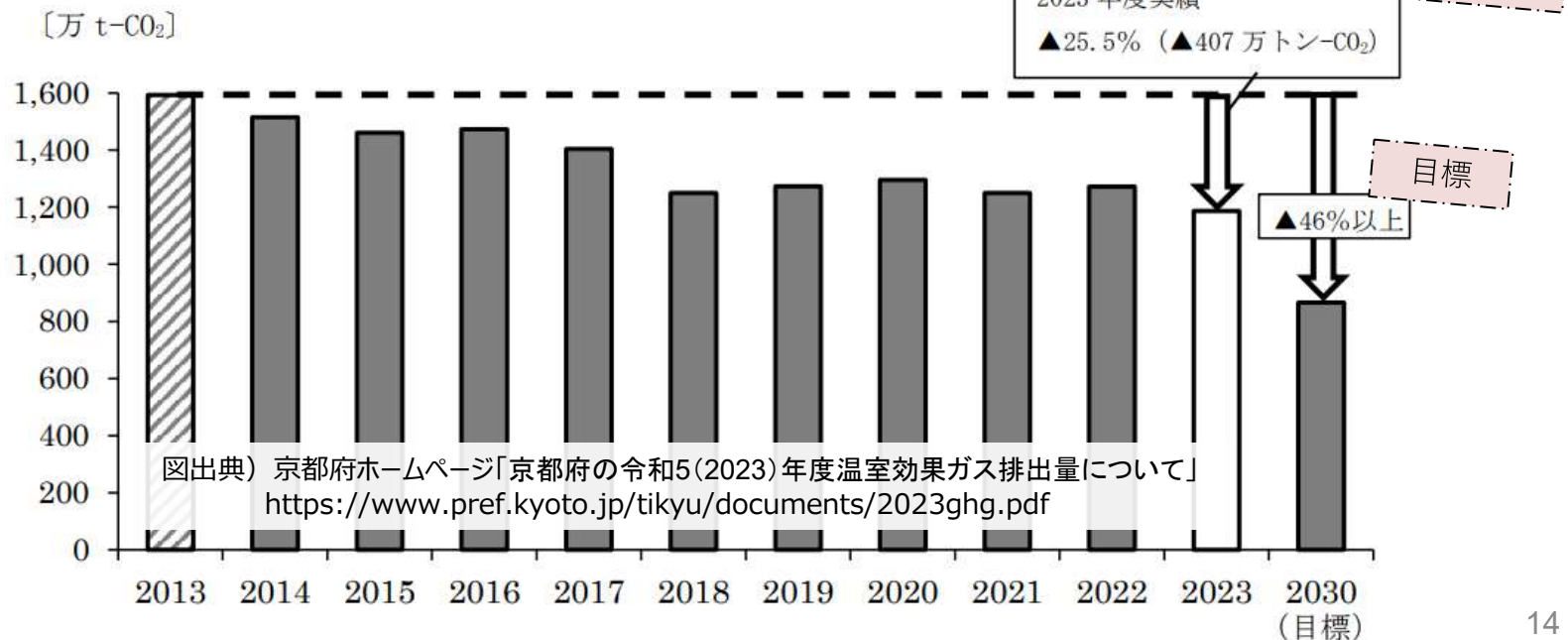
https://www1.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

京都府の温室効果ガス排出量の推移

京都府の部門別（運輸部門）二酸化炭素排出量（2023年度）

部門	2013年度 (基準)排出量	2022年度 排出量	2023年度 排出量	2030年度 削減目標
運輸 部門	297万t	【現状(前年度比)】 -1.9%		182万t未満
		254万t	249万t	
		【現状(2013年度比)】 ▲15.9%		
			【目標】 ▲39%	

2023年度の温室効果ガス
排出・吸収量：1,187万t-CO₂
<2013年度比25.5%減>



地球温暖化対策に係る 京都府の取組

京都府の温室効果ガス削減目標と現状

2050年度

2050年度に**脱炭素で持続可能な社会（温室効果ガス実質排出量ゼロ）**を目指す



当面の目標

2030年度

「脱炭素社会に向けた取組を加速化」
2030年度に**温室効果ガスの46%以上削減**（基準年度：2013年度）



現状(再掲)

2023年度

◆府内温室効果ガス排出量 1,187万t-CO₂

2013年度比 ▲**25.5%**

京都府地球温暖化対策条例の規定

自動車交通関係（第33条～第38条）

努力義務

事業者・府民・
観光旅行者等

公共交通機関又は自転車の利用等により、
自動車等の使用の抑制に努める

第33条第1項

自動車の使用者・
所有者

自動車等の適正な**整備及び**
運転（「**エコドライブ**」）に努める

第33条第2項

自動車の使用者・
所有者・事業者

電気自動車等その他の温室効果ガスを排出
しない又は温室効果ガスの排出量が少ない
自動車等の**購入、使用、提供**に努める

第37条第1項
～第3項

義務

運 転 者

自動車等を駐車又は停車する時は、アイ
ドリング・ストップ(原動機の停止)を**行う**
※信号・交通混雑による停止等を除く

第34条

事 業 者

アイドリング・ストップを行うよう
指導等の措置を実施

第35条

大規模駐車場
(500m²以上)
の設置者・管理者

アイドリング・ストップを行う旨の
看板を設置するなど**周知**


第36条

京都府地球温暖化対策条例の規定 ＜アイドリング・ストップ関係＞

みなさん、ご存知ですか？

京都府地球温暖化対策条例では
アイドリング・ストップ
(駐停車時のエンジン停止) は
義務 となっています

アイドリング禁止



一部、例外(認められる場合)もあります

信号待ち 渋滞中 人の乗降時 冷凍車 保冷車 緊急自動車

その他やむを得ない場合

自動車等の管理者、駐車場の設置者・管理者にも**義務**があります

自動車等の管理者
運転者に対し、**指導**その他の適切な措置を講じる

規則で定める駐車場の設置者・管理者
看板の設置その他の方法により**周知**する

いくつか知っていますか？「エコドライブ10のすすめ」

- 1 自分の燃費を把握しよう
- 2 ふんわりアクセル「eスタート」
- 3 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- 4 減速時は早めにアクセルを離そう
- 5 エアコンの使用は適切に
- 6 ムダなアイドリングはやめよう
- 7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- 8 タイヤの空気圧から始める点検・整備
- 9 不要な荷物はおろそう
- 10 走行の妨げとなる駐車はやめよう

京都府

アイドリング・ストップを
啓発するポスター

府民・事業者の皆様へのお願い

義務規定について、
いま一度ご確認ください。

事業所等でも周知・徹底いただき
ますようお願いいたします。



京都府地球温暖化対策条例の規定 自動車交通関係（第39条）

義務

エコドライブマイスター

50台以上※の車両を
管理する事業者

管理する自動車等を運転する者が**エコドライブを行うことを推進する者**を選任し、その氏名その他必要な事項を知事に**届け出**なければならない

※事業所単位ではなく、府内の事業所を合計した台数

エコドライブマイスターを選任するまで

①講習会受講

講習会で実施する
修了試験に合格した方に
修了証を発行

②選任届出書提出

- 【提出書類】
- ・ **選任届出書**（第14号様式（第44条関係））
 - ・ 被選任者の**修了証の写し**

選任届出完了



- ★ 新規選任のほか、届出内容の変更、解任の際にも届出が必要です
- ★ 条例上の義務は事業者単位での選任ですが、事業所ごとの選任を推奨します
- ★ 選任届出書様式は京都府HPからダウンロードしてください
<https://www.pref.kyoto.jp/tikyu/ecomeister.html>

(参考) エコドライブコンテストを実施しています

「令和7年度京都府エコドライブコンテスト」

チーム対抗

- ・参加者の安全運転やエコ運転の結果をスコア(点数)化し、平均スコアが高いチームを表彰するコンテスト
- ・参加チームには急ブレーキが多い場所などがわかる交通安全マップやCO₂排出削減量の結果を提供
- ・実施期間: 令和7年12月1日(月)から令和7年12月31日(水)まで

走行データ取得にあたっての 車載器とスマートフォンの接続イメージ

①「Visual Drive」アプリのインストール

②車へ車載器(タグ)を設置



コンテストやアプリで楽しく
エコドライブに取り組んで
みてはいかがでしょうか？



エコドライブの推進に
ご協力をお願いします

End